



「健康について」

歯科医師石櫻会
 会長 小山田 榮二

歯科医師石櫻会の皆様は、命を授かりこの世に生を受け、歯科医師を志して研鑽を積み、歯科医師となり、歯科医療を通じて患者様方の健康づくりに貢献していることと思います。ご自身の健康はいかがでしょう。

自分は健康だと思っている人は多いと思います。身体の調子もいいし、具合悪いところもないし、痛いところもないし、酒もおいしく飲めるし、健康だと思う。ちょっと胃や腰が痛いとか、食欲がないとか、疲れやすいとか、大したことじゃないから大丈夫、とあって深く考えない。

私も自分は人並み外れて健康だ、柔道で鍛えた体力もあるし、病気などとは無縁だ、と思い込んでいました。ところがそれは根拠のない過信でした。青天の霹靂、55才の時、自覚症状の無いまま、「癌」の宣告を受けました。幸いにも外科手術で除去できる腎臓癌だったため、現在まで再発もなく元気でいられました。

歯科医師国保の健康診断で、節目健診でドックを受けましょうと案内が来て、普段は受けないエコー検査で発見されたので、命を救われました。その案内が無かったら間違いなく癌が転移して、この世にはいなかったでしょう。神様に生かされていると感じました。

昨年の健診で「心房細動」のチェックが入りました。今までと変わらず具合悪いこともないし、軽く考えて放置していました。風邪をひいて内科に行ったら「死ぬよ」と叱られました。血栓ができやすく、抗凝固薬の服用が必要です。心臓のCTを撮影したら、「左心耳」に血餅がびっしり詰まっていた。気付かずに放置して、ぼろっとこぼれたら半身不随か死亡でした。運が良かったです。健康診断で2度も命を救われた思いです。

皆様は健康診断を受けているでしょうか。見逃しがあるから意味が無い、健康だから大丈夫、検査結果が悪いのがわかるからイヤ、などの理由で受けない人もいます。二人に一人は必ず癌になります。健康なうちに病気が見つければ対策が立てられます。後悔しないように毎年健康診断を受けましょう。

自分が健康でなければ、満足のいく診療はできません。患者様方と共に健康に暮らす明るい社会を作りましょう。

掲載内容

- ・ 巻頭言
- ・ 平成30年度総会報告
- ・ 平成30年度講演会報告
 講演1(新36回生)
 青木修治先生
 講演2
 (岩手医科大学歯学部
 口腔顎顔面再建学講座
 口腔外科学分野教授)
 山田浩之先生
- ・ 石櫻トピックス
- ・ 役員名簿
- ・ 幹事会記録
- ・ 事務局からのお知らせ
- ・ 編集後記



平成 30 年度総会・講演会・懇親会・臨時セミナー報告



平成 30 年 6 月 9 日(土)ホテル・メトロポリタン盛岡本館において平成 30 年度歯科医師石櫻会総会・講演会が 26 名の会員出席のもと開催された。総会は、小豆嶋正典副会長の開会の辞、小山田榮二会長挨拶の後、大久保卓也幹事の司会で伊保内利一会員が議長を務め、中野廣一幹事長より平成 29 年度会務報告、波紫修一幹事より会員名簿関係報告、中野廣一幹事長より会計報告、村上 修監事より会務・会計内容が適切である旨の監査報告があった。平成 30 年度事業計画等、会員名簿等について審議され原案通り可決承認された。

総会の後に座長を上原豊幹事が務め、青木修治先生の講演「県内の強豪高校相撲部への歯科的サポートについて」、つづいて岩手医科大学歯学部口腔外科学分野教授、山田浩之先生の講演「デジタル技術を用いた口腔外科手術」を拝聴した。

その後、熊谷哲也・西郷史郎・高橋賢司幹事の司会のもと、小豆嶋正典教授退職慰労会を併催した。会員懇親会に入り、小山田榮二会長挨拶、村井伸吾校長、村井紀之同窓会長より来賓挨拶をいただき、小山田榮二会長から小豆嶋正典先生への花束贈呈、小豆嶋先生からの謝辞、横澤昭平顧問の乾杯で祝賀会に入った。神奈川から馳せ参じてくれた、笠原一臣会員の挨拶を皮切りに、参加会員全員の近況報告が楽しく行われ、田中崇一幹事の音頭で岩手高校校歌を斉唱した。最後に亀田幸宏幹事の中締めで祝賀会を閉めた。

その後、岡田伸男幹事の計らいでディエスオーチョにて 2 次会が行われ、深夜まで歓談し、石櫻同窓ならではの絆を深めるひと時を過ごした。

平成 30 年 9 月 1 日(土)ホテル・メトロポリタン盛岡本館において臨時セミナーが 22 名の会員出席のもと開催された。座長は青木修治先生が務め、鈴木哲男先生 (つなぎ歯科医院 院長) の講演「私の体験記 ～診療録は全てを語る～」を拝聴した。

(文責 中野廣一)



会員懇親会 (小豆嶋正典教授退職慰労会を併催)



講演 1

『県内の強豪高校相撲部への歯科的サポートについて』

青木 修治 先生 (新 36 回生)

八幡平市開業

平成 23 年より岩手県スポーツ歯学協議会運営委員会に所属し、平成 27 年からは県内公立高校の強豪相撲部へのサポートをしてきました。アンケート調査により、口腔領域へのケガの状況やマウスガードの使用感などを調査し、さらには県内他校へのアンケート調査により、相撲競技における歯科的問題点が見えてきました。またマウスガードの有効性もほとんどの選手や指導者から聞かれました。

相撲競技においては他競技より長期間にわたったサポートと現場での情報交換、そして国体前からサポートしたことで、スポーツデンティストとして国体帯同の実現もでき、貴重な体験となりました。

これまでのサポートから、相撲競技での口腔領域のケガの既往は決して少なくないことが確認できました。特に口腔内の裂傷は多く、稀ではあるが歯牙の破折もあり、その予防にはマウスガードが有効であることも確認できました。また個人差はあるものの、練習や試合においてかなりの噛みしめをしていることが、マウスガードの使用状況で確認できたことは今後のサポートの上でも非常に有意義なものとなりました。

今回のサポートにより、様々な競技において歯科的なサポートが重要であると実感できたことで、今後ますます歯科医師がスポーツ現場で活躍できることを期待したいです。



講演 2

『デジタル技術を用いた口腔外科手術』

山田 浩之 先生

岩手医科大学歯学部 口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野教授

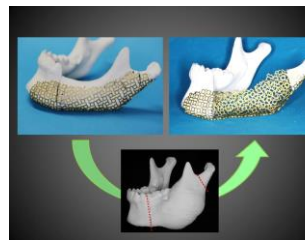
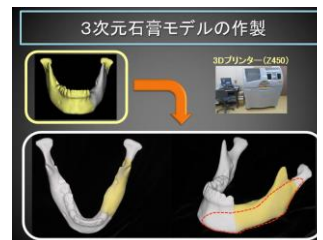
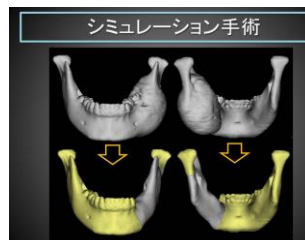
腫瘍切除や外傷などによって下顎骨の連続性が失われると、咀嚼機能をはじめとする顎口腔機能が相応に障害される。また、下顎の患側偏位や顔面の陥凹などによる整容的障害も必発する。このような下顎骨欠損に対する最近 20 年間の治療の主力は、やはり血管柄付きの自家骨 (腸骨、腓骨、肩甲骨) 移植である。しかしながら、これらブロック骨による再建では、下顎骨の 3 次元的形態を正確に再現したり、最終的な補綴治療を見据えた再建骨の形態を自由に設定することは困難である。一方、このようなブロック骨による下顎骨再建の困難性を解決するために、Dumbach らは、下顎骨の外形を模した既成のチタンメッシュトレーと自家腸骨海綿骨髄細片 (PCBM) を用いた下顎骨再建を開発した。しかしながら、既成品である Dumbach のトレーは、下顎臼歯部から下顎枝に至る直線的な欠損にはきわめて有用であるが、オトガイ部を含む欠損の場合に

は、トレーと残存骨の適合に困難を伴うことが少なくなかった。そこでわれわれは、CAD/CAMの技術と歯科技工の技術を駆使することで、個々の患者の元来の下顎骨の外形を持ち、最終的な歯科補綴治療を念頭に置いた3次元的形態を付与したカスタムメイド・チタンメッシュトレーを作製し、下顎骨再建に用いている(図)。本法の最大の利点は、再建下顎骨の形態を自由に設定することができることである。実際の臨床では、カスタムメイド・チタンメッシュトレーに術後の補綴治療を念頭に置いた形態を付与するとともに、患者自身の本来の下顎骨の外形をほぼ忠実に再現することができる。その結果、トップダウントリートメントの概念に則った術後の補綴治療は順調に進み、術後の顔貌に対する満足度も概ね良好であった。また、本法には特別な外科的手技が不要であり、移植骨採取部位の障害が小さいことも大きな利点となっている。

実際に本法を適用した下顎欠損患者17例を対象として、その臨床経過をretrospectiveに調査し本法の臨床的有用性について検討した。

手術は全例とも支障なく終了しており、平均手術時間は452分(275~688分)であった。PCBMの採骨量については、後腸骨稜、脛骨顆頭あるいはその両方から37~113g採取され、全症例とも再建に必要なPCBM量は確保されていた。術後経過は概ね良好であったが、3例で再手術を施行していた。1例は術後早期の局所感染により、移植骨の約半分が失われたため、残る2例は、いずれもオトガイ部を含む下顎骨欠損を有する症例で、術後の経過観察中のトレー(1重構造)の破折に対応したものであった。3例ともオトガイ部を含む欠損様式だったので、再手術には2重構造のトレ

ーを適用し、良好に経過している。なお、トレーの破折を経験して以来、オトガイ部を含む下顎骨再建の際には、必ずトレーの破折防止を目的とした2重構造のトレーを使用し、現在のところ全例良好に経過している。術後の顎機能は無痛開口域を用いて評価したが、平均45.6mm(30~60mm)で日常生活に支障を来しているものはいなかった。また、術後の補綴治療についても、ほとんどの症例で順調に進行していた。術後の顔貌については、ほとんどの症例で対称性を回復できており、臨床的には全例満足できる結果と思われた。本講演では、このカスタムメイド・チタンメッシュトレーとPCBMを用いた下顎骨再建の臨床的有用性を中心に様々な補綴前外科について紹介した。



平成30年度 歯科医師石櫻会 総会・講演会・懇親会 参加者のご紹介



3列左から：菊池宗法、村上 修、斎藤 海、高橋賢司、波紫修一、上原 豊、大久保卓也、岡田伸男
 2列左から：熊谷哲也、関 克典、亀田幸宏、渡辺充泰、中野廣一、斎藤博樹、西郷史郎、田中崇一
 前列左から：笠原一臣、伊保内利一、青木修治、山田浩之、小豆嶋正典、小山田榮二、村井伸吾、横澤昭平、田中健一、村井紀之、桂 啓文(敬称略)

石櫻トピックス

みなさま、岩手高校のHPをご覧になったことはあるでしょうか？私は恥ずかしながら卒業25年経った今、初めて見ました。クラブ活動や、学校生活についての情報がたくさん掲載されていました。私の恩師も写真にチラホラ。当時のいろいろな思い出が一瞬にして蘇りました。歳を取っても忘れてはいけない若い心、や



る気に満ち溢れた心、素晴らしいではないですか。みなさんも、今一度、HPを開いてみてはいかがでしょうか。(近藤 聡 記)

役員名簿

(任期：平成31年3月31日現在)

- 会 長 小山田榮二
- 副会長 小豆嶋正典
- 幹事長 中野廣一
- 幹 事 副幹事長 西郷史郎
- 学術 上原 豊、田中崇一
- 会計 赤坂俊彦、近藤 聡
- 庶務 熊谷哲也、大久保卓也、内田良夫、菊池宗法
- 名簿 波紫修一、高橋賢司
- 記録 亀田幸宏 (ビデオ撮影、DVD・抄録作成)
- 広報 関 克典、西郷史郎 (副幹事長と兼務)
- 地区 道又 元、佐々木正博
- 学内 岡田伸男 (学術と兼務)
- 顧問 岡田宗二、横澤昭平、山田康平、田中健一
- 監 事 村上 修、池田 健 (敬称略)

幹事会記録(抜粋)

平成30年度第1回幹事会

日 時:平成30年5月31日(木) [於:「えんの蔵」]
 出席者:小山田榮二会長、小豆嶋正典副会長、中野廣一幹事長、赤坂俊彦、亀田幸宏、上原 豊、熊谷哲也、波紫修一、西郷史郎、高橋賢司、大久保卓也、岡田伸男、田中崇一、菊池宗法の各幹事、村上 修監事、田中健一顧問
 (敬称略)(16名)

1) 報告事項

(1) 中野幹事長より昨年度の事業報告:平成30年2月23日幹事会▼4月10日第10号会報・講演会案内等発送(130部)

(2) 赤坂会計担当幹事より平成29年度の会計決算報告:
 <収入>収入合計520,010円(内訳:当日会費6,000×22=180,000、当日年会費5,000×12=60,000、振替入金5,000×29=145,000、振込入金5,000×25=125,000、雑収入10,000、決算利息10)
 <支出>支出合計397,172円(内訳:総会費234,042、講師謝礼70,000、車代20,000、資料作成費等56,456、香典(1件)5,000、自動振替手数料6,674、返金15,000)
 <収支> 520,010円-397,172円=122,838円

(3) 会員名簿報告:波紫修一会員名簿担当幹事より、170部余印刷して、今年度の総会参加者に配布(約30部)。残りは2019年春発行の会報第11号に同封して全会員に配布することとなった。名簿の発行は4年毎を予定。

2) 審議事項

(1) 平成30年度総会、講演会等に関する件
 ・6月9日(土)に、H.メトロポリタン本館にて総会、講演会、懇親会(小豆嶋正典教授退職慰労会併催)を行う。講師は、青木修治先生(新36回生)と山田浩之先生(岩手医大歯学部口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野教授)。

(2) 令和元年度総会、講演会等に関する件
 ・6月8日(土)に、H.メトロポリタン本館にて総会、講演会、懇親会を行う。講師は、上原豊先生(新39回生)と藤原隆麿氏(盛岡八幡宮宮司、岩手県神社庁長)(新24回生)。

(3) 令和2年度総会、講演会等に関する件
 ・6月13日(土)に、H.メトロポリタン本館にて総会、講演会、懇親会を行う。講師は、岡田伸男先生(新44回生)と竹田浩人先生(新33回生)。(文責:中野廣一)

平成30年度第2回幹事会

日 時:平成31年2月25日(月) [於:「ねまる」]
 出席者:小山田榮二会長、中野廣一幹事長、赤坂俊彦、亀田幸宏、上原 豊、熊谷哲也、波紫修一、西郷史郎、高橋賢司、大久保卓也、田中崇一の各幹事、村上 修監事、田中健一顧問
 (敬称略)(13名)

1) 報告事項

(1) 中野幹事長、熊谷哲也・大久保庶務幹事より今年度の事業報告:平成30年6月9日 平成30年度歯科医師石桜会総会、講演会(講師:青木修治先生(新36回生)、山田浩之先生(岩手医大歯学部歯科口腔外科教授))、会員懇親会(小豆嶋正典教授退職慰労会併催)(参加者数26名)。平成30年9月1日 臨時セミナー(講師:鈴木哲男先生(つなぎ歯科医院 院長))(参加者数22名)。▼平成30年7月20日 志賀元一先生(新31回生)ご尊父様ご逝去;会から弔電、7月20日 徳富 亘先生(新16回生)ご逝去;御香典、7月20日 岡田伸男先生(新44回生)ご母堂様ご逝去;御香典、9月12日 村井俊弘先生(新16回生)ご逝去;御香典、11月23日 上原 豊先生(新39回生)ご尊父様ご逝去;御香典、12月27日 青木修治先生(新36回生)ご母堂様ご逝去;御香典、平成31年1月26日 池田 健先生(新20回生)ご母堂様ご逝去;御香典

(2) 赤坂会計担当幹事より平成29年度の会計決算報告:
 <収入>収入合計603,010円(内訳:当日会費6,000×23=138,000、当日年会費5,000×10=50,000、振込金額50,000×30=150,000、自動振替50,000×29=145,000、雑収入20,000、臨時セミナー会費5,000×20=100,000、利息10)
 <支出>支出合計616,808円(内訳:総会費221,334、講師謝礼70,000、車代20,000、資料作成費・送料110,036、慶弔費34,000、自動振替手数料6,674、臨時セミナー費124,764)
 <収支>603,010円-616,808円=▲13,798円

(3) 波紫会員名簿幹事より、会員名簿を170部印刷した。第11号会報に同封して発送する予定である。個人情報保護から岩手高等学校卒業で歯科大学に入学した者のリサーチは難しいが、多方面から鋭意情報集に務める旨の報告があった。

2) 審議事項

(1) 令和元年度総会、講演会は6月8日(土)夜5時よりH.メトロポリタン盛岡本館にて開催。講師は上原豊先生(新39回生)と外部講師:藤原隆麿氏(盛岡八幡宮宮司、岩手県神社庁長)(新24回生)

(2) 令和2年度総会、講演会は6月13日(土)夜5時よりH.メトロポリタン盛岡本館にて開催。講師は岡田伸男先生(新44回生)と竹田浩人先生(新33回生)

(3) 令和3年度総会、講演会は6月12日(土)夜5時半よりH.メトロポリタン盛岡本館にて開催。講師は熊谷哲也先生(新40回生)と外部講師:熊谷章子先生(岩手医大法科学講座法歯学・災害口腔医学分野准教授)予定 (文責:中野廣一)

事務局からのお知らせ

■ 会計からのお願い

年会費のご納入が未だでございましたら、下記口座へ5,000円のお振込をお願いいたします。銀行口座からの自動振替制度のご利用が便利です。事務業務も大変簡素化され助かりますので、お手続きをよろしくお願いいたします。

■「銀行振込み口座」

東北銀行 大通支店(支店コード103)

(普通) 3162801 歯科医師石桜会 会計 赤坂俊彦

■「口座振替依頼書」のお手続きの間合せ・送付先
 〒020-0016 盛岡市名須川町29-2 赤坂病院歯科
 歯科医師石桜会 会計 赤坂俊彦 宛
 TEL: 019-624-1225 FAX: 019-623-1825

■ みなさまの声を寄せ下さい

本会についてのご意見、ご要望、会員名簿のご訂正や名簿に掲載されていない岩手中高卒の歯科医師情報、会員のお悔やみ情報などがありましたら事務局までお知らせください。

歯科医師石桜会事務局

〒020-0837 盛岡市津志田町2-1-70

くまがい歯科クリニック内

TEL/FAX: 019-632-1188

E-mail:tetsu-tetsu@wish.ocn.ne.jp

編集後記

平成30年4月の診療報酬と介護保険の同時改定より1年が経過いたしました。指導・管理、在宅、医科歯科連携等の重要性がますますと高まり、今後の歯科医療の発展のためには、各地区における医科歯科連携のさらなる強化、各医院における今後の対応等を強く意識しなければならない転換期が訪れていると感じております。(西郷史郎 記)